

追跡!

ありやあどげなつた?

米価下落対策

令和2年度

事業名 「水稻作付け継続支援事業」

令和2年度産生産者米価の下落が懸念され、水稻の継続的な作付けが危ぶまれるため農家へ、JA出荷米1袋当り200円を支援。

総事業費 1777万3千円

(対象袋数8万8866袋)

令和3年度

事業名 「水稻うるち米作付け支援事業」

令和3年度産生産者米価が大きく下落し、水稻の継続的な作付けに大きく影響を及ぼすことから、3年度はJA出荷分に加えてJA以外への出荷検査米に対しても1袋当り300円を支援。

総事業費 3997万4千円

(対象袋数13万3248袋)



八川

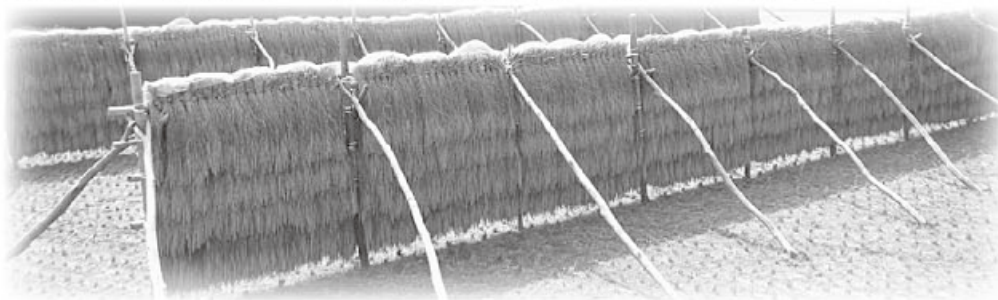
堀尾信勝さん



厳しい米づくりの環境を支援していただいたことに感謝しています。

私の米販売は、自称「来町個別販売」と称して、山陽、四国のお客様に我が家まで米を取りに来ていただき、生産地を見てもらって、安全安心なハデ干し米を提供しています。

その折には、町内で食事や土産物を買っていただけるようにと、考えています。循環型、観光農業の維持発展、高齢者農業に引き続きご支援をいただければ、励みになります。



佐白

宇田川洸平さん



高齢化による離農、後継者不足による耕作放棄地の増加は今後も増えるのは必至だと思います。私の経営も、米担当の父の高齢化によって、耕作面積は年々減少しています。しかし、どうにか踏ん張り、仁多米の産地を維持することが大事であると考えています。

価格下落だけが後継者不足の原因ではないと思います。この度の支援事業は、米価下落を離農者増加のキツカケにはならないと言う農家の声が届いたものだと思えます。ありがたいことです。

ありやあどげなつた?